

冠動脈 CT 画像の画像処理に関する研究

概要

当院では、年間約 300 件程度の冠動脈 CT 検査を実施しています。冠動脈 CT 検査とは、心臓の血管である冠動脈の病態や治療後の評価のために実施される検査です。当該検査において、冠動脈に石灰化(石のような病変)やステント(治療の際に血管内に留置する器具)などがある場合、CT 画像の画質を評価する際に不利益をもたらすことがあります。このような問題点を解決するためには、CT 画像に対して、適切な画像処理を施す必要があります。

目的

本研究では、新たに提案された画像処理法(以下、提案法)を既存の CT 画像に適用し、その効果について検討することを目的とします。

方法

既存の冠動脈 CT 画像のうち、冠動脈に石灰化およびステントを有する症例 CT 画像を抽出し、これに対して提案法を適用します。

研究対象

2024 年 4 月 1 日から 2024 年 10 月 31 日に、当院にて冠動脈 CT 検査を受けられた患者様のデータを対象とします。なお、本研究は既存のデータを使用するため、患者様に対して新たな追加検査を行うことはありません。

研究に使用するデータ

診療情報 (CT 画像データ)

個人情報の取り扱いについて

本研究で使用するデータは、患者様の個人を特定できる情報を全て削除した上で、使用します。

本研究へのご協力について

本研究について、対象となる患者様の中で、データの使用に関して同意されない場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。また、本研究に関してご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。

お問い合わせ先

国民健康保険 小松市民病院

中央放射線科

研究責任者：下川 蒼永

住所：石川県小松市向本折町ホ 60

TEL：0761-22-7111